

2011年6月20日

各 位

会 社 名 わかもと製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 神谷信行
(コード：4512、東証第一部)
問合せ先 広報室長 福原 和彦
(TEL. 03-3279-0334)

わかもと製薬株式会社とアキュメンバイオフーマ株式会社、 眼科用手術補助剤のライセンス契約を締結

わかもと製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 神谷 信行、以下「わかもと製薬」)と九州大学発の創薬バイオベンチャー企業であるアキュメンバイオフーマ株式会社(本社:福岡、代表取締役社長兼CEO 鍵本 忠尚、以下「アキュメンバイオフーマ」)は6月20日、アキュメンバイオフーマが日本国内で権利を有するBBG250を主成分とする眼科用手術補助剤(以下「本製剤」)の日本国内におけるライセンス契約を締結しましたので、ご案内申し上げます。

本製剤は、アキュメンバイオフーマが九州大学の開発した安全性と染色性の高い青色色素の技術を用いて製品化に成功した製剤であり、眼科硝子体手術時に眼の内境界膜という透明な膜を染色・可視化する眼科用手術補助剤になります。日本国内では未承認ですが、海外においては、オランダのドルク社が日本以外の地域におけるライセンス契約を締結しており、昨年欧州で承認され、同年9月より販売を開始しております。

わかもと製薬は、将来、現在発売中の硝子体手術時における硝子体可視化剤であるマキユエイド®に加え、本製剤を提供する事により、硝子体手術における手術補助剤のパイオニアとしての地位を確固たるものとする事ができると考えております。

今後、両社は協力して早期の承認申請を目指して本製剤の開発を行って参ります。